

都市再生整備計画(第5回変更)

野崎駅周辺地区

栃木県 大田原市

平成23年3月

都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	とちぎけん 栃木県	市町村名	おおたわらし 大田原市	地区名	のざきえきしゅうへんちく 野崎駅周辺地区	面積	130 ha
計画期間	平成 18 年度 ~ 平成 22 年度	交付期間	平成 18 年度 ~ 平成 22 年度				

目標
<p>大目標:「安全・安心・快適さを整え、楽しく暮らせるまちづくり」</p> <ul style="list-style-type: none"> 目標①・JR野崎駅の機能性・利便性を高める 目標②・住み心地の良い生活環境を整える 目標③・憩いの空間の充実化を図る 目標④・住民の地元への愛着心を育てる

目標設定の根拠
<p>まちづくりの経緯及び現況</p> <p>大田原市の西部に位置する野崎地区は、国道4号、国道461号などの交通アクセスを生かして、優良な企業群を有する野崎工業団地を構えており、146haに及ぶ敷地内には、現在18社、3,500人が働いています。この地区は、工業団地の造成と共に宅地の開発を進め、地区の中心に位置するJR野崎駅の東側には、工業団地への通勤者が多く居住する大規模な住宅団地が形成され、駅の西側におきましても、土地区画整理事業により秩序ある計画的な市街地の整備が推進されています。</p> <p>JR野崎駅は、地域住民だけでなく、近隣市町村や東京近郊から工業団地へ通勤する従業員にも多く利用されており、地区の玄関口として人々の日常生活に重要な役割を果たしています。しかし、現在、駅前広場には歩道と車道の区別がないことや、十分な駐車スペースが確保されていないことなどから、駅利用者から安全性や利便性の向上を求める声が多く聞かれます。また、野崎駅と共に発展してきた駅前商店街も、自動車利用の浸透や、幹線道路沿道の大型店舗の影響を受けるなどの要因により、次第に衰退しております。更に、この地区の住宅地の中には、排水設備が老朽化していたり、施設が不十分なところもあり、衛生面や事故・災害防止の面から、居住者や通行者より整備改善が強く望まれています。このようなことから、地域住民だけでなく、市外・県外からの通勤者も数多く生活する野崎地区の住環境の向上と、地区全体の活性化を図れるよう、野崎駅前広場の整備を核とした、総合的なまちづくりが必要であると考えます。</p>

課題
<p>①JR野崎駅前広場の整備・・・駅前広場は鉄道利用者が代替交通へ転換する場であり、人が集まる都市の玄関口として多様な役割を担っています。野崎駅も、通勤・通学者を中心に、多くの人々に利用されていますが、現在の駅前広場は歩道も整備されておらず、自家用車・タクシー車輛動線も明確に分離されていないため、安全性や利便性の向上が求められています。</p> <p>②生活環境の整備・改善・・・水害や事故の防止、悪臭の改修等、適正な道路排水処理を図るためには、側溝の整備は不可欠です。しかし、野崎地区にはその設備が老朽化し、整備も不十分な住宅地があり、早急に整備改善を望む声が多くあります。</p> <p>③公園機能の充実・・・公園は住民の『憩いの場』であり、魅力ある快適な生活環境を創る上でも重要な機能です。近年の社会環境、自然環境の変化に伴い、このような憩いの場の必要性はますます高く、現在野崎工業団地内に整備されている野崎公園・下石上公園の機能充実として、公衆用トイレの新設・改修を主とした整備改善が強く望まれています。</p> <p>④地域活性化対策・・・車社会の充実と共に野崎駅前商店街は衰退し、地区全体としての活気が失われつつあります。そのため、地元への愛着が深まるような地域活性化対策を考える必要があります。</p>

将来ビジョン(中長期)
<p>(大田原市都市計画マスタープランによる基本方針)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○将来都市構造の設定 野崎駅周辺拠点地区・・・野崎駅周辺は重要な公共交通機関をもつ個性的で魅力ある市街地を形成する拠点として位置づけ、計画的な土地利用の推進と機能的な都市環境の整備を推進します。 ○野崎地域のまちづくり方針 <ul style="list-style-type: none"> ・快適な生活が送れる居住環境の形成 住宅地における土地区画整理事業の推進や野崎駅周辺の整備、通過交通対策などにより、安全で安心して暮らせる良好な居住環境の形成を目指す。 ・交通の利便性の高い活力ある市街地の形成 市内で唯一の鉄道駅である野崎駅や東北縦貫自動車道とのアクセスなど、地理的条件を生かし産業活動の向上を目指す。

目標を定量化する指標							
指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値		目標値	
					基準年度		目標年度
野崎駅及び駅前広場利用者数	人／年	駅乗降客数だけでなく広場を訪れた人数の調査により算出	歩道と自家用車、タクシー車輛動線を明確に分離し、駐車場を設けることにより、鉄道利用者の安全性が確保され、利便性が高まる。また、コミュニティー機能として交流広場を併設する。	360,000	17	396,000	22
道路排水施設の満足度	%	地区住民に対するアンケート調査により算出	機能が不十分な側溝を整備することで、生活環境が向上する。	5	17	70	22
公園の利用者数	人／年	公園利用者数の調査により算出する	既に整備されている下石上公園・野崎公園に、公衆用トイレを設置することで公園機能がアップする。	6,700	17	8,000	22

都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>整備方針① JR野崎駅の機能性・利便性を高める</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歩道と車道を明確に分離することで、駅利用者の安全性を高める。 ・一般自家用車やバス、タクシーの乗降場、また駐車場を設けることで利用者の利便性が向上する。 ・駅前広場に交流スペースや公衆用トイレを設置することで、駅利用者だけでなく地域住民が気安く立ち寄れる駅前空間を創出する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・野崎駅前広場整備(基幹事業) ・野崎駅前広場周辺駐車場整備(基幹事業) ・野崎駅前広場周辺駐輪場整備(基幹事業) ・市道下石上10号線道路改良工事(基幹事業) ・野崎駅前広場トイレ(基幹事業) ・駅前広場モニュメント設置(基幹事業)
<p>整備方針② 住み心地の良い生活環境を整える</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公有地の有効利用を図り、地域住民のコミュニティー活動の場を創出するための道路を整備する。 ・老朽化や整備が不十分な側溝の整備改善に取り組み、居住者や通行者の安全面・衛生面での満足度を高める。 ・土地区画整理事業による秩序ある市街地の整備を目指す。 ・県道滝沢野崎停車場線の整備により、駅東西の交通アクセスの充実化を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・市道下石上6号線外計3路線(基幹事業) ・市道薄葉36号線～43号線外計9路線(基幹事業) ・市道薄葉住宅団地中央線道路改良工事(基幹事業) ・市道下石上13号線道路改良工事(基幹事業) ・野崎駅西土地区画整理事業(関連事業) ・県道滝沢野崎停車場線道路整備(関連事業)
<p>整備方針③ 憩いの場の充実化を図る</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公園機能を充実させることにより、地域住民などが気軽に利用できる『憩いの場』を創出する。 ・地域住民のコミュニティー活動の場を創出するため、分断された公有地を統合し多目的に利用できる交流広場を整備する。 ・土地区画整理事業地内公園の整備を行い、公園機能の充実を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・下石上公園整備事業(基幹事業) ・野崎公園整備事業(基幹事業) ・野崎東町交流公園(基幹事業) ・駅前西公園(基幹事業) ・駅前中央公園(基幹事業) ・駅前北公園(基幹事業) ・駅前東公園(関連事業)
<p>整備方針④ 住民の地元への愛着心を育てる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・住民主体により野崎地区の活性化対策を考え、住民の地区への愛着心を育てる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・野崎地区活性化事業(提案事業)
<p>その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ○野崎地区活性化事業(提案事業) 野崎地区自治会により、住民参加による野崎地区活性化対策を実施する。 <ul style="list-style-type: none"> ・駅前広場を利用した納涼祭・写真展・農産物直売・花展等、イベントの開催 ・交流広場を利用した、親・子・孫三世交流のスポーツ大会の開催 ・駅舎、広場などのイルミネーション・花畑等、駅前広場の美化活動 	

交付対象事業等一覧表

交付対象事業費	645	交付限度額	258	国費率	0.4
---------	-----	-------	-----	-----	-----

(金額の単位は百万円)

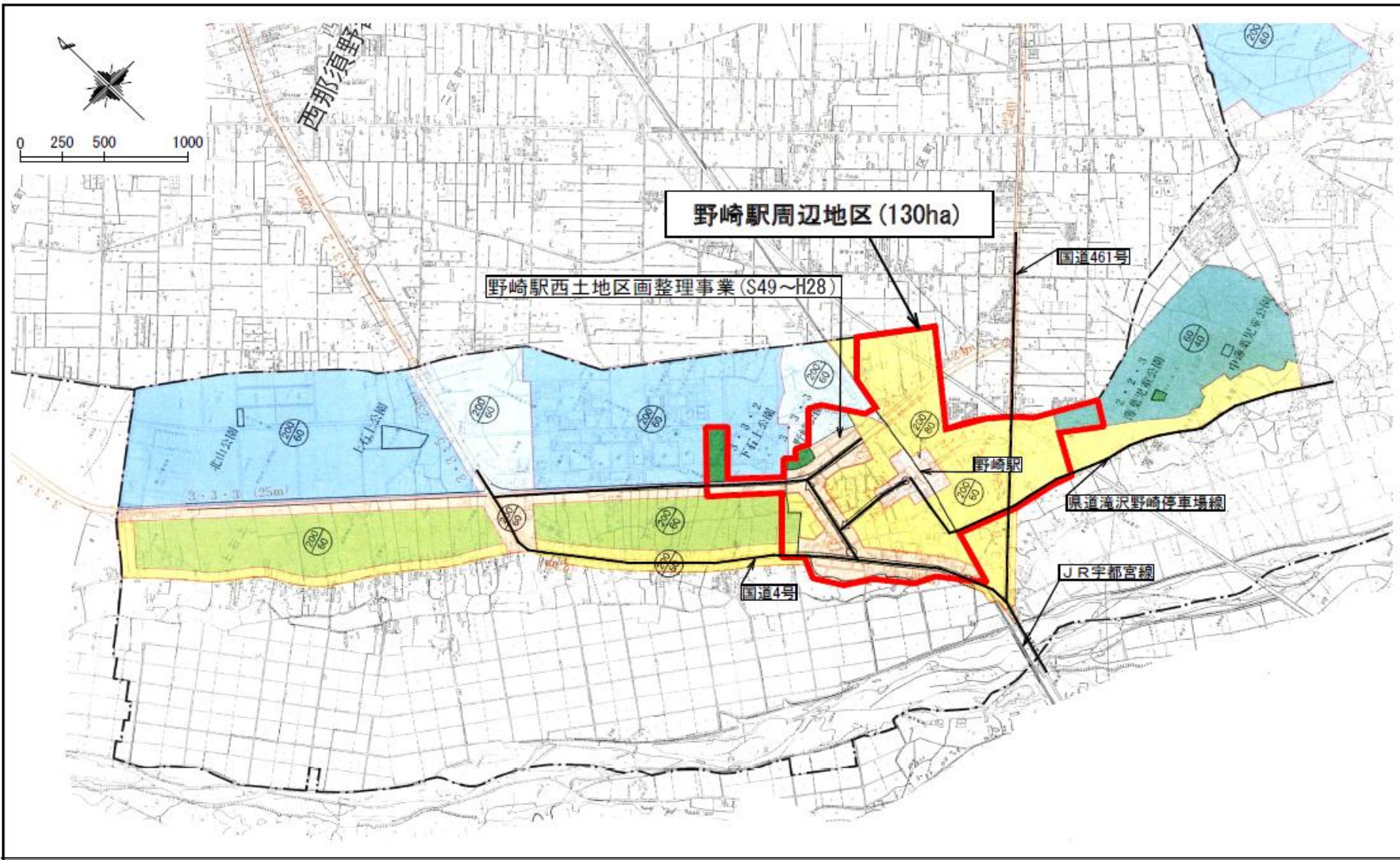
事業	細項目	事業箇所名	事業主体	直/間	規模	(参考)事業期間		交付期間内事業期間		(参考)全体事業費	交付期間内事業費	うち官負担分	うち民負担分	交付対象事業費
						開始年度	終了年度	開始年度	終了年度					
道路		市道下石上6号線外計3路線	市	直	L=283m	H20	H21	H20	H21	22	22	22		22
		市道薄葉36号線~43号線外計9路線	市	直	L=1,326m	H18	H20	H18	H20	78	78	78		78
		市道薄葉住宅団地中央線	市	直	L=233m	H20	H21	H20	H21	28	28	28		28
		市道下石上13号線	市	直	L=200m	H18	H18	H18	H18	28	28	28		28
		市道下石上10号線	市	直	L=100m	H18	H20	H18	H20	129	129	129		129
公園		下石上公園	市	直	A=25,368㎡	H18	H19	H18	H19	59	59	59		59
		野崎公園	市	直	A=10,000㎡	H19	H19	H19	H19	17	17	17		17
		駅前西公園	市	直	A=2,500㎡	H22	H22	H22	H22	33	33	33		33
		駅前中央公園	市	直	A=2,100㎡	H21	H21	H21	H21	17	17	17		17
		駅前北公園	市	直	A=1,750㎡	H21	H21	H21	H21	14	14	14		14
古都及び緑地保全事業														
河川														
下水道														
駐車場有効利用システム														
地域生活基盤施設			市	直		H19	H22	H19	H22	185	185	185		185
高質空間形成施設			市	直		H21	H22	H21	H22	27	27	27		27
高次都市施設														
既存建造物活用事業														
土地区画整理事業														
市街地再開発事業														
住宅街区整備事業														
地区再開発事業														
バリアフリー環境整備促進事業														
優良建築物等整備事業														
住宅市街地総合整備事業	拠点開発型													
	沿道等整備型													
	密集住宅市街地整備型													
	耐震改修促進型													
街なみ環境整備事業														
住宅地区改良事業等														
都心共同住宅供給事業														
公営住宅等整備														
都市再生住宅等整備														
防災街区整備事業														
合計										637	637	637	0	637

事業	細項目	事業箇所名	事業主体	直/間	規模	(参考)事業期間		交付期間内事業期間		(参考)全体事業費	交付期間内事業費	うち官負担分	うち民負担分	交付対象事業費
						開始年度	終了年度	開始年度	終了年度					
地域創造支援事業														
事業活用調査														
まちづくり活動推進事業	野崎地区活性化事業		野崎地区自治会	間		H18	H21	H18	H21	9	9	8	1	8
合計										9	9	8	1	8

事業	事業箇所名	事業主体	所管省庁名	規模	(いずれかに○)				事業期間		全体事業費
					直轄	補助	地方単独	民間	開始年度	終了年度	
野崎駅西土地区画整理事業(特会)	野崎駅西	市	直	A=56.3ha		○			S49	H28	7,300
県道滝沢野崎停車場線道路整備	県道滝沢野崎停車場線	県					○				
	駅前東公園	市	直	A=650㎡		○			H22	H22	6
合計											7,306

合計(A+B) 645

野崎駅周辺地区（栃木県大田原市）	面積	130 ha	区域	下石上、薄葉の一部
------------------	----	--------	----	-----------



野崎駅周辺地区(栃木県大田原市) 整備方針概要図

目標	安全・安心・快適さを整え、楽しく暮らせるまちづくりを推進する。	代表的な指標	駅及び駅前広場利用者数 (人/年)	360,000 (17年度) → 396,000 (22年度)
			道路排水施設の満足度 (%)	5 (17年度) → 70 (22年度)
			公園の利用者数 (人/年)	6,700 (17年度) → 8,000 (22年度)

